

大雪ボランティア養成セミナー



【期日】 2024/6/1 ~ 2024/6/2
 【対象者】 高校生、大学生、専門学校生、社会人
 【参加人数／募集人数】 41 / 30

1. 趣旨

青少年の体験活動を支援するボランティアに求められる知識・技能を習得するとともに、ボランティア活動に積極的に取り組む意欲を高める。

2. プログラム内容

【1日目】

	11:15	11:30	12:30	13:30	15:00	18:30	20:00	21:00	22:00
11:00 受付	開講式	大雪について 知ろう!	昼食 (持参)	青少年教育について	野外炊事をやってみよう! (夕食含む)	ボランティアって 何だろう?	キャンプ ファイヤー	入浴 就寝準備	

【2日目】

6:30	7:30	9:00	12:00	13:00	14:00	15:00	
起床 準備	朝食 部屋清掃	普通救急講習	昼食	先輩ボラン ティアと交流 しよう!	法人ボラン ティアの制度 を知ろう!	閉講式	15:15 解散予定

3. 活動内容

①大雪について知ろう!

国立青少年教育振興機構や大雪青少年交流の家の教育機能や役割、運営について次長が講義を行った。



②青少年教育について

厚真町教育委員会の齊藤烈氏が講師となり、ご自身の経験やこれまでの活動の紹介を通して、体験活動の必要性などについて講義を行った。



③野外炊事をやってみよう!

グループに分かれてカレーライスを作った。活動を通してボランティアとして野外炊事を提供する方法や注意点などについて学んだ。参加者同士の交流も深めることができた。



④ボランティアって何だろう？／キャンプファイヤー

ボランティアの役割や、求めるボランティア像についての説明を行った。実際のキャンプファイヤーを体験し、ボランティアが進行する姿を見て進行方法などを学んだ。



⑤普通救急講習

美瑛消防署の職員3名が講師となり、講義や演習を通して応急手当などの救命救急に必要な知識や技術を学んだ。



⑥先輩ボランティアと交流しよう！／法人ボランティアの制度を知ろう！

先輩ボランティアとの交流を通してボランティア活動の意義や心構えを学んだ。機構でボランティアとして活動するための手続きを行った。



4. アンケート結果

質問：事業全体に対しての満足度をお答えください。（人）

たいへん満足	やや満足	やや不満	たいへん不満
30	11	0	0

5. 参加者の声

- ・年齢層の幅があり、普段関われない人とも関わって良かったです。
- ・大雪でボランティア活動をすると、学べることや得られるものがたくさんあるんだと思いました。
- ・どのプログラムも参加者の成長を促すもので、参加してよかったと思いました。
- ・ボランティアは単に人の手助けをするイメージを最初は持っていたが、人と人とのつながりが一番重要であることがわかりました。
- ・本心から楽しんでいるということが感じられて、良い経験になりました。また来たいです。
- ・大雪青少年交流の家の魅力をたくさん感じる事ができました。不安、失敗を考えるのではなく、「まずやってみる！」を大事にしてこれから活動していきたいと思いました。素敵な企画をありがとうございました。

6. 事業の成果

- ・計画的かつ広範囲に広報活動を行うことができ、募集定員の30名を超える41名の参加を集めることが出来た。
- ・先輩ボランティアが担当するプログラムを用意することで、参加者がボランティア活動の中身をイメージし易かった。
- ・参加者の8割以上が先輩ボランティアの様子や事業全体のプログラムを通して、大雪や地域でボランティア活動してみたいと思うようになった。その後の事業にも今回ボランティア登録した方の応募が多数あった。
- ・札幌や旭川をはじめ、道内各地から参加者が集まり、互いに交流を深め、人間関係を作ることができた。